

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2014/04 前期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 進路概況 ～国公立大学現役合格110名 医学部医学科志望者も大健闘～◆

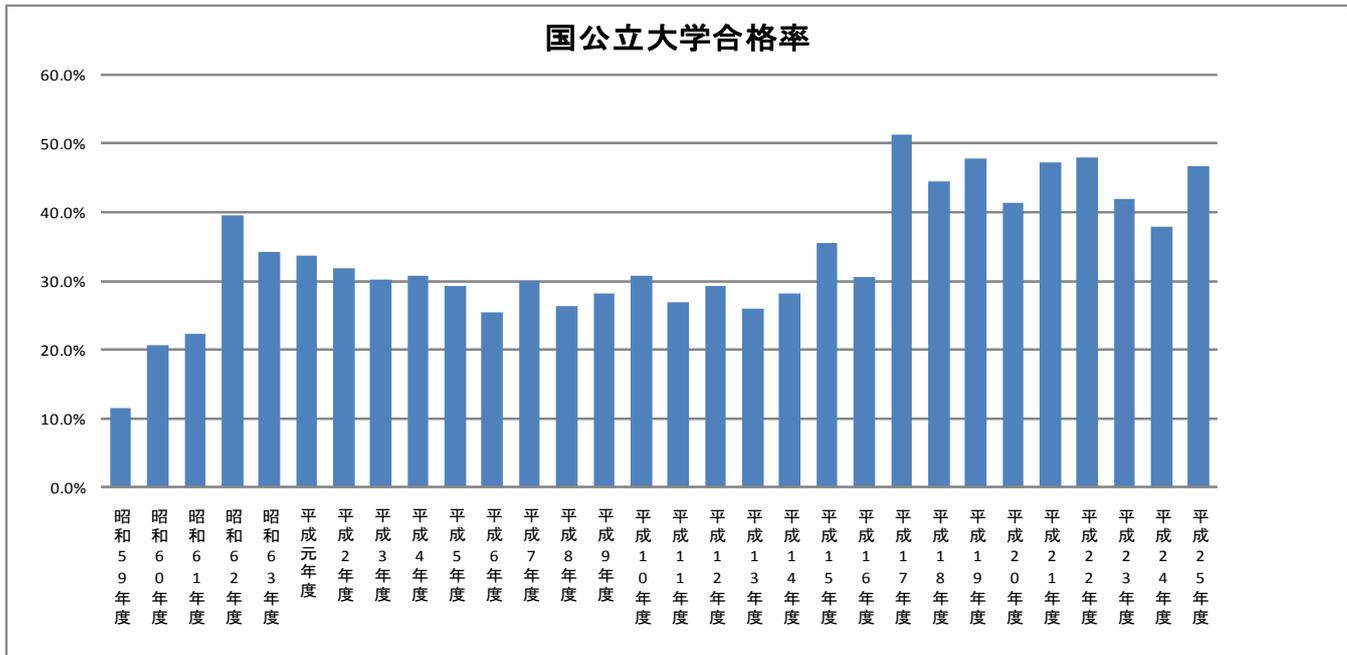
難化により全国的に平均点の下がった平成 25 年 1 月のセンター試験から 1 年、卒業した 3 年生が受験した平成 26 年 1 月のセンター試験は、「国語」の全国平均点がとうとう 5 割をきる（全国平均は 200 点満点中 98.67 点）という状況でした。今後もこのレベルが求められると考えられるので、在校生は頑張っていきましょう。反面、化学の全国平均は上昇し、理系の合計点数を引き上げる一助となりました。いずれにしても、基礎力を備えた生徒は、難化した科目に影響を受けることなく、第 1 志望の大学に挑戦することができました。第 1 志望への合格を支援するために、さまざまな試みを行ってまいりましたが、その結果がまとまりましたので、報告します。

1 国公立大学入試の概要

まず本年度の国公立大学入試についてみていきましょう。過去 30 年にわたる合格者の推移をグラフにまとめました。

国公立大学現役合格者数 110 名（前期 80 名・ 中・後期 30 名）
国公立大学現役合格率 46.6%
1 学級あたりの国公立大学現役合格者数 18.3 人

■国公立大学現役合格率（合格者数／卒業生数）の推移－過去30年間－



国公立大学に現役で 110 名、現役合格率は 46.6% でした。この結果は、史上 4 番目の好結果でした。

全体としては、自分の志望を大切にしながら粘り強く受験する姿が見られました。自分が学びたいこと（探求したいこと）のできる大学を全国から探し、受験していました。大学名だけでなく、自分の志望分野を優先していたのが印象的でした。さらに、国公立大学の後期日程の合格発表は3月22日ごろで、「こんなぎりぎりなら、受かっている私大に行く」ということで、後期日程自体を受けない生徒も全国的には多いのですが、今回は諦めずに受験する生徒も多く、30名もの生徒が合格しました。

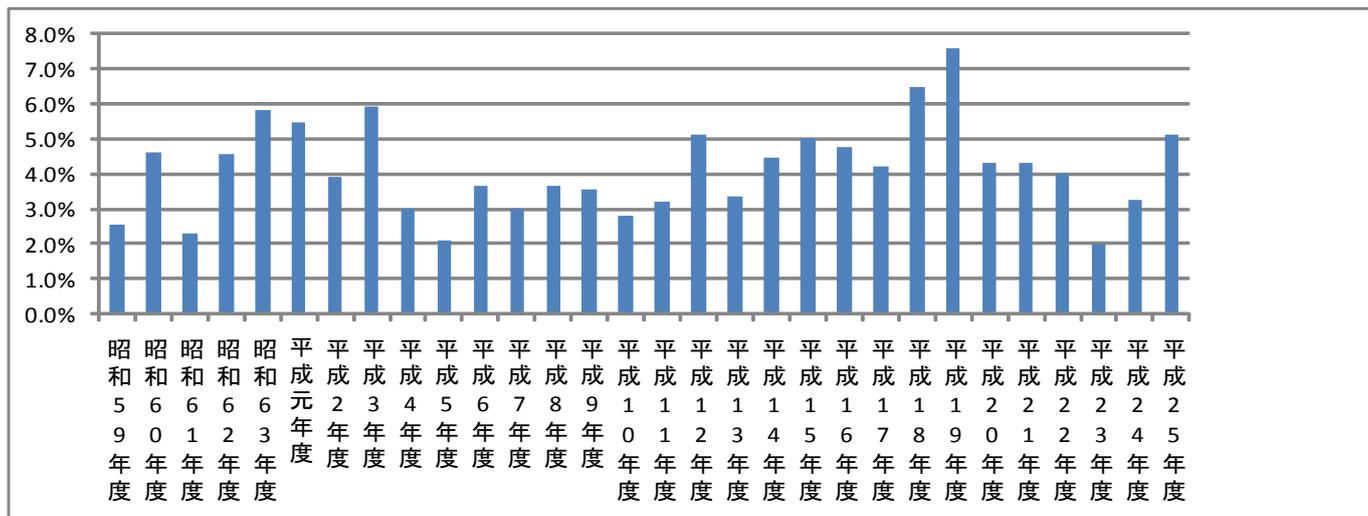
また、医学部医学科への現役合格者が多かったことも特徴です。北海道大学の医学部医学科に現役で2名、札幌医科大学に現役で4名、旭川医科大学に現役で1名、合計、医学部医学科に現役で7名の生徒が見事合格しました。この結果は過去10年をさかのぼっても見当たらない数字です。さらに卒業生も3名が合格し、合計10名の合格となりました。

ただ、最難関である東京大学・京都大学へは、それぞれ1名ずつ挑戦しましたが、残念ながらあと一歩というところで涙をのみました。例年は最難関のこの2つの大学へは、合計5名程度の挑戦者がいるのですが、今回は高い学力層の生徒は医学部志望が多く、医学科の数字が多くなるという結果になりました。

その他、東京外国語大学、筑波大学、東北大学などの難関大学にも現役での合格者が出ました。

北大については、現役生は前・後期合わせて20名が受験しました。合格者は、現役12名、浪人4名の計16名です。合格率は60.0%となり、合格者数／卒業生数は5.08%と増加の傾向を示しました。近年の北大受験の特徴としては、道内の合格者割合が下がっていることです。道内の生徒は全合格者の50%を下回っています。

■北海道大学現役合格率（合格者数／卒業生数）の推移－過去30年間－



詳細については、「別紙：上級学校等合格者一覧（過去3年間）」をご参照下さい。

2 私立大学入試の概要

次に私立大学の状況について見てみましょう。私立大学は、2科目入試や3科目入試が一般的であり、7科目入試の負担を考えると、たいへん受験しやすいように見えます。しかし、合格をするためには、高得点が条件となります。1科目の失敗は、直接合否に関わってきますので、失敗が許されない入試です。

今回は、文系の私大入試で特に生徒の頑張りが見られ、有名私大に数多く合格者が出ました。特に慶應義塾大学に現役でのべ5名（実合格者数4名）、過年度生で1名の合格者が出たのをはじめ、上智大学に現役で3名、法政大学に11名、立命館大学に13名と健闘する姿が見られました。

■難関私立大学受験結果・のべ数（ ）内は昨年度

大学名	現役受験者数	現役合格者数	大学名	現役受験者数	現役合格者数
慶應義塾大学	13 (4)	5 (0)	立教大学	8 (12)	3 (4)
早稲田大学	3 (12)	0 (0)	中央大学	21 (10)	8 (1)
上智大学	6 (4)	3 (1)	明治大学	18 (21)	3 (2)
東京理科大学	9 (5)	3 (2)	青山学院大学	4 (11)	1 (1)
同志社大学	5 (5)	1 (4)	法政大学	20 (41)	10 (12)
立命館大学	21 (12)	13 (3)	関西学院大学	3 (1)	1 (0)

3 平成27年以降の入試に勝利するためには

新3年生のみなさん、いよいよ受験学年となりました。毎年、この通信に掲載していることですが、受験の必勝法は、安易に科目を減らさないことです。ただし、よく考えた上で科目を減らす場合は、逆に勉強の質を増やす必要があります。（科目を減らすことは、失敗科目がつかれないことを意味します）学習する質を減らすための科目減には、何の意味もありません。

7科目粘り強く学習し、最後まで諦めない！

次に、基礎基本の徹底です。入試問題に挑戦し始めると、難問・奇問を解けることが合格へのカギだと思ってしまう生徒がいます。しかし、この手の問題は、受験生の多くが得点できない状況にあります。大事なことは、基礎的な問題を確実に得点することです。そのために必要なことが復習になります。浪人した生徒で、学校で買った化学の問題集1冊を15回以上も解き直し、北大の医学部医学科に合格した先輩もいました。繰り返し学習は「言うのは簡単だが、実行しづらい。しかし家計にやさしく、実行した者は、合格に近づける方法」です。

繰り返しの学習を徹底せよ！

最後に、目標について触れておきます。目標や計画の話をする、嫌がる生徒がいます。全員がすぐにできるものではありませんが、やはり目標を立て、計画的に進めることには意味があります。浪人することになった先輩の多くが、計画を立てていなかったり、甘かったことを後悔している点からも、計画の重要性はわかつてと思います。

自分が達成したい目標をしっかりと考え、達成のための方法を計画しよう！